

## たなしゅん



- ・所属団体  
インクストーンズ、震災伝承部、もしとさ
- ・学部学年 理学部地球惑星物質科学科 2年
- ・出身県 茨城県

## 直将



- ・所属団体  
インクストーンズ、福興 youth、もしとさ
- ・学部学年 文学部 2年
- ・出身県 栃木県

## 奏乃



- ・所属団体  
ぽかぽか、TSALL
- ・学部学年 理学部地球惑星物質科学科 2年
- ・出身県 神奈川県

### インタビュアー

所属団体 ぽかぽか

学部学年 工学部材料科学総合学科 2年

## 3人の所属する団体

インクストーンズ、ぽかぽか、福興 youth は対談で紹介しています。

### TSALL

植樹・育樹活動をはじめ、様々な環境保全活動に取り組んでいます。月に1,2回程度、環境保全のボランティアに参加する傍ら、ミーティングでは環境問題についての勉強会も行なっています。

### 震災伝承部

様々な東北の被災地に赴き震災と向き合う事に焦点を当てて活動しています。昨年度は現地での視察やスタディツアー、ビデオを用いた勉強会やボランティア活動などを行いました。

### もしとさ

東大生が主体の防災団体で、東日本大震災の被災者の体験や教訓、思いなどを伝えていくために、高知県危機管理部や高知大生と連携して南海トラフ地震で被害が想定されている高知県で防災活動をしています。宮城県内でも講師を招いた研修会を行い、防災イベントへ参加する予定です。

### 〈震災の活動の様子〉

**ほか**、SCRUMなどがのびのびとメンバーズ、福興 youth、ほかほかの震災の活動の様子。いろいろ聞かされたので、いろいろなメンバーズは、

**たなしゅん** インクストーンズは、宮城県石巻市を中心に活動している。コロナ前は復興公営住宅の住民さんと手打ちお茶会、料理企画をして、学生とお話しませんかかと誘ったり、住民さん同士で交流する機会をつくっている。サロン活動をしたりしていた。住民さんとは他愛もない話が多いかな。孫みたいな世代だから。子供が来てくれたら一緒に遊ぶこともあるよね。たまたま震災の時の話とか、悩み事も聞くんこともあるかな。

**直将** 話の中で気づいたことなどを普段のミーティングでみんな話し合っていて次の企画に生かしたりするよね。

**たなしゅん** サロン活動はそんな感じ。自分たちが震災について学ぶためのスタディツアーもあるよね。伝承施設とか震災遺構に行ったり、語り部さん方のお話を聞いたりね。

**直将** 石巻の日和山からの景色が変わっていくのを見て、復興の様子(道路や施設など)がわかる。そこが石巻に継続して行っていて感じられる嬉しいことかな。

**たなしゅん** 新しい道とか震災後にできた公園とか。レンタカーで走っていて新しく行く時には変化に驚いた笑。

**直将** インクストーンズの活動ではないけど、この前の冬に右手の陸前高田に行った時には変化に驚いた笑。

**たなしゅん** インクストーンズのメンバー以外の学生を連れていくこともあるよね。**直将** 学んだことを伝える中で自分の理解も進むこともあるな。

**たなしゅん** 誰かに自分の言葉で説明することは難しいけど大事かもね。

今コロナ禍だから活動が、

**たなしゅん** 大学からの制限もあるし、高齢者相手が多いのは現地に入っていない。その中で、イベントを探して、学びを深める勉強会をやっているね。あとは現地の方との交流を続けるためにお手紙交換もできたらしいなと考えている。感染対策しながら、少しずつイベントを再開していくための準備期間だよな。

福興 youth の震災の活動が、

**直将** 福興 youth は福島県いわき市、富岡町を中心に活動している。福興 youth もサロン活動やスタディツアーをしているけど、インクとの違いで、活動場所が原発事故のあった福島県だから、そういう面で考えることが増えたりはするかな。学生にできることを模索している感じがある。

**直将** 福興 youth のメンバーは福興 youth が参加しているイベント、身体力行で、みんなが一緒に頑張っている。

**直将** 福興 youth の活動先である隣り合った2団体では、団体間での衝突の背景を知ったうえで現地の自治体の方や住民さんと接する必要があると思うかな。

**たなしゅん** 自分も何度か福興 youth の活動に参加したことがある。災害はどっかで起こってもお金の面で摩擦が生じると思うけど、福島はそれが顕著だったように思えるよね。

お金の問題をきちんとして教える必要がある。

**直将** 東京電力からの賠償金は罹災状況によつて賠償金がもらえる人ももらえない人がいる。もらえないことを訴えられる人もあれば訴えられない人もいるし。額の違う問題になっているみたいだよな。家は残っていて、転居しなければならなくて、家を取り壊すのにもお金がかかるよね。

**たなしゅん** 半壊、全壊で判断するのもお金の

問題は比喩的なけど、それ以外の要素もたなくてはならないよね。

**直将** 汚染の値をどうとらえるかは個人の感じ方によつて変わるし、科学的な面と法的側面と感情面の摩擦が複雑だから難しいと感じることが多いよね。

**たなしゅん** お金の問題は特に直接自分たちが解決できるものではないけど、現地に行くんことで住民さん同士の摩擦緩和の一助になればいいよね。このままで学生ができるのだからうね。難しい話になっちゃったけど、

その土地を知ることができるといいのが、活動を続ける大きなやりがいだよな。

**直将** 活動を継続しているのは行くのが楽しいからという理由は間違いなくあるよね。

**たなしゅん** っん。間違いない！住民さんのあたたかい歓迎は嬉しいよね。よく住民さんに若いのだからもつと食べなよって言われる(笑)。地域のことをもっと好きになるよね。

ほかほかの震災の活動が、

**奏乃** ほかほかは右手県陸前高田市で活動をしていて、主な活動は、仮設、災害公営住宅の集会所で、住民さんとお話ししたり料理したりする。初めて会った大学生でも年齢的に孫のように可愛がってくれる。初めて来た人でもあたたかく歓迎してくれる。折り紙を一緒に折ったりとか、一緒に「おいしいねー」とか会話をしたりするとき。あたたかさを感じるかな。あとは地域の子供とも遊んだり、宿題を教えたりして。**たなしゅん** ほかほかはお祭りの参加が印象的だけどどんな感じ？

**奏乃** そうだね、陸前高田では8月の七夕祭りと、1月の虎舞に参加するね。これらのお祭りが開催される地域は大学生の世代が少ないから、七夕の山車を引くなよ、担い手のような感じで手伝いに行くかな。自分たちが企画するっていうよりは、地域の行

事に参加することで、そのお祭りが続いていへるように願っている。

団体の活動からは少し離れたけれど、メンバー一同SNS交流は、

**たなしゅん** みんな飯も行くし、みんなプライベートでも遊ぶよね。いろんな人がSCRUMにはいるよね、文系も理系も関係ないし。個人個人でルーツも興味も違って、性格も、活発な人もいれば物静かな人もいる。いろんな考えを知れるから、そこが面白いって感じるかな。

**奏乃** 同学年もだけど上の学年から聞く話もためになるな。

**たなしゅん** 同じものを見ていても経験の長短で見えるものが違うのが面白いし、いろいろ思う。

**直将** 初めて行った人の意見に気づかされることもあるよね。

**奏乃** 被災地を初めて見た時の思いとか衝撃を大事にしたいな。

去年は台風も多かったけど台風とかの緊急災害支援みたいなボランティアはした。

**直将** SCRUMでは昨年の台風15号の千葉派遣に行ったかな。台風直撃から多少時間が経ってから行って、農家のビニールハウスの撤去作業を二日間やった。台風19号の時は福興 youthでいっきに行っただけもあったな。

**奏乃** 台風19号では宮城県の丸森町にも回くらい行って、泥だしとか、足湯・傾聴も行った。TSALLでは、台風で学校に行けなくなった子供への学習支援も行ったよ。

### ＜ボランティアを始めたきっかけ＞

**奏乃** ボランティアを始めたきっかけは何だった？

**たなしゅん** 元ボランティアをやるともいはなく、震災について知りたいという気持ちがあった。だから今の学部学科を選んだのだけど、データだけではなくて、実際の

状況や現地住民の声を聞きたくて、震災系ボランティアに入ろうと思ったかな。

**奏乃** 私もたなしゅんと同じ学部学科で、元から自然災害に興味があったな。東北にルーツがないので震災について全然知らなかったけど、震災に関する授業をとって石巻に行ったとき、他の被災地にも行ってみたくて、軽い気持ちでほかほかの陸前高田のツアーに行ったな。震災についての無知が悔しかったり、陸前高田が自分の故郷と似ている気がして愛着が湧いたりして、このまちに継続したいと思ってボランティアサークルに入った。その地域が好きになったということも大きいかも。もともとボランティアがやりたいと思っていたわけではなかったな。

**直将** 高校まででいろいろなことをやってきたわけじゃなかったから、大学に入っているなことをやろうとした中にボランティアがあった。今思えば北関東で揺れも経験して震災に興味があったのかな。

**奏乃** 他のボランティアサークルと比べたみたいだけど、SCRUMにした決め手は？

**直将** いろんなところに行けるといのが大きかったかも。留学生と関わる国際部があったり、岩手・宮城・福島の3県に行けりとか。一つの団体でいろんなことができるのが魅力だったのかな。

### ＜印象的だった活動＞

印象に残っている活動は？

**直将** 最初に行った活動が一番活動に残っている。最初に見た衝撃は大きいな。

**奏乃** 私も最初の活動が印象的だったけど、具体的にはどこが衝撃だった？

**直将** 東日本大震災の揺れは経験したし、ニュースとかで映像は見たことはあったけど、時間の経過とともに記憶は薄れていたから、初めて陸前高田に行った時、正直まだこんな感じなのか...と思った。

**奏乃** わかる！特に陸前高田はそうだね。9年も経っていたら、結構復興が進んで

いるのかと思っていたけど、町の中心部は電信柱が立っているだけで家が立ってなかったのには衝撃を受けたのはびっくりしたな。

**たなしゅん** 最初の衝撃でいうと、大川小学校のインパクトが強かった。大川小学校で実際に娘さんをなくされた語り部の方の話を聞いて、何かの形で伝えていきたいと思ったし。建物を見ても、コンクリートがグチャグチャになっていて、津波103と聞くのとみるのでは違ってた。

**直将** 自分も大川小学校の周りに住宅という地域があったのは想像できない。でもそこに暮らしがあったことは忘れたくないよね。

**奏乃** 最初の活動で、初めて行った土地で現地の高校生にまた来てねと言われて嬉しかったな。やりがいに感じたし、またその子に会うことも陸前高田にいっきかけになっているかな。

**たなしゅん** 「あの人に会いに行く」という思いがあるよね。ボランティアしているという感じはないかな。石巻の好きなところがたくさんあって、石巻に行ったら、「帰ってきた！」みたいになる(笑)。

### ＜活動で大事にしていること＞

みんなが活動をしていく大切にしてほしいことは？

**たなしゅん** 「被災者と自分」という立場も、いつ自分が被災するかわからない。最近では災害も多いし。忘れてしまいがちだけど活動中でももつと自分ごととして考えるのは大事な視点だと思っている。住民さんも、「まさか自分がそうなる」とは思っていないという人が多いし、明日は我が身と想って。だからこそ自分は防災への意識が高いのかもしれない。

**奏乃** 私は人と接する上で、「支援する支援される」の上下関係は絶対に考えたくないと思っている。自分がボランティアをやっているという感覚はなくて、困っている人



があるなら関わりたい。支えられたいがあるなら支えたい」と思って活動してきている。実際に活動先で良かれと思ってやったことが、あまり喜ばれなかったという話もある。向こうが求めているものを「こちらが完璧」に把握できなければいけないのは当たり前だからその思いのかな。

**直将** 支援者としての立場にいないことを前提として、学生だからこそみたいな意識が強い。強固なノウハウや知識を持っているわけではないから、その人にとって何が必要なのか考える際には学生は弱いよね。3、4年の短い期間でできないことが多いから、逆に学生にしかできないことを考えることが多いかな。

**奏乃** 大学生って中途半端なことしかできないよね。それでも、住民さんが身近な人には話せない悩みを打ち明けてくれて、話せてよかったと言ってくれたとき、いい意味で中途半端な関係である大学生だからこそ話せることなのかなと思った。それが大学生の強みなのかもしれない。

**直将** 確かに大学生に話す時のハードルの低さはあるかもね。

**奏乃** 子供の遊び相手として大学生がお兄ちゃんお姉ちゃんのようにできようていっていつも強みなのかもじゃないよね。

**直将** 確かに。祭りも、学生だからこそ参加しやすいものだしね。

初めの頃は年代の違う人々との間で緊張はあつたが、だんだん話のペースが速くなり、緊張はなくなっていった。

**奏乃** 元々話すのが得意じゃなくって、初めて会う人と話すのはかなり緊張した。周りのメンバーもそういう人は多いからね、住民さんが暖かく話してくれるのが嬉しくて、その悩みはだんだん薄れていったかな。

**たなしゅん** 確かに自分も最初はそのハードルを感じていたけど、話すときに身構えなくなっていくようになっていった。

**たなしゅん** ボランティア活動とは離れるけど、その地域のローカルな魅力を知れるのはすごく嬉しいよね。石巻のおいしい海鮮丼屋さんとか。地元の人しか知らないことを知るのってシンプルに楽しいと思う。

**奏乃** ボランティアをやっているって偉いと言われるけど、楽しくやっているから、偉くないのだけれどなと思う笑。ボランティアだと思っただけでいい。

**たなしゅん** 確かにすごいねー、と言われてもいや違うんですよってなる笑。楽しくないと続けられないし。

**奏乃** 色々な考えを持った大人と話することができるのは刺激的だよ。

**たなしゅん** 大学生活で住民の方とかNPOの方が、大学生以外にも関われるのは貴重だよ。いろんな考えに触れられて考えの幅が広がって。これはボランティアならではのかもね。

**直将** 同じ活動をしている人でも自分と違うことを考えているのも面白いと感じるかな。

#### 〈最後に一言〉

**奏乃** 震災復興以外にも、教育支援とか貧困問題への取り組みとか、自分の興味のあることを他の誰かのために生かせる場の一つがボランティアであることを知って欲しいです。

**たなしゅん** とにかへ、一回でも現地に足を運んで欲しい。震災への興味のある人は関係ないと思うから、自分の目で見て、感じてほしいです。

**直将** 社会でこんなことが起きているかは、自分からインプットしてみても考えられないけど、感じられないけど、好む好むでもあると思う。実際に自分の目で見て聞くんことも大事にしてほしいです。

被災地へ行ってみたい、ボランティアしてみたい、支援したい、など、いろいろな思いがある人は、ぜひとも被災地へ行ってほしい。

サークルの紹介は他のページでもあわせて是非のページでも紹介しています。ぜひとも被災地へ行ってほしいです。

#### 1 復興公営住宅(災害公営住宅)

災害で家を失った被災者に安い家賃で貸し出す公的な賃貸住宅のこと

#### 2 仮設住宅

災害で家を失った被災者のうち、自らの資金では住宅を確保することができない者に対し、仮設された簡単な住宅のこと。一時的な安定を図るもので、短期間の居住に限定される。

#### 3 大川小学校

石巻市釜谷地区の北上川河口から約4kmの川沿いに位置し、東日本大震災で全校児童108人の7割に当たる74人が死亡、行方不明となった小学校。震災遺構として保存される。